

都市教養プログラム

都市教養学部人文・社会系・助教授
下川 昭夫

都市教養プログラムは首都大学東京の教育の大きな目玉の1つとして平成17年度から始まりました。その基本的な考え方としては、「大都市に関連する様々な課題に取り組み、解決できる人材の育成」を目指しており、そのために、都市教養プログラムを通じて「特定の学問を深く研究するのみならず、さまざまな領域の学問からのアプローチを学習する」手がかりを学ぶことが目的です。

都市教養プログラムは、都市にまつわる4つのテーマ（①文化・芸術・歴史、②グローバル化・環境、③人間・情報、④産業・社会）に沿って、学問分野による4つの学系（①人文・社会科学系Ⅰ、②人文・社会科学系Ⅱ、③技術・自然科学系Ⅰ、④技術・自然科学系Ⅱ）と⑤実験・体験型科目（現場体験型インターンシップ）に分類した5つの系から授業科目を選択し、学際的・総合的なアプローチを学習する仕組みになっています。

4つの大学が統合され、首都大学東京に変わり、多くの学生の受け入れと多様な都市教養プログラムの施行にもかかわらず、Fatal Errorになることもなく粛々と最初の1年が進んでいったのは、ひとえに、事務方の皆様と先生方のおかげだと思い、感謝しております。

平成17年度を通じて、基礎教育部会とその下部組織である都市教養プログラム部会で様々な課題を検討してきた結果、都市教養プログラムに関して大きく2つの課題（部分的・緊急的課題と、全体的・制度的課題）が考えられました。まず部分的・緊急的課題としましては、授業スケジュールがタイトな健康福祉学部学生への配慮でした。また全体的・制度的課題としましては、①「テーマ」および「系」の配置の見直し、②コース・学科ごとの履修方法の不統一、③履修方法の複雑さ、④当該科目担当者の限定の問題などがあげられました。

これらの課題には比較的取り組みやすいものもあれば、構造的な課題を含んでおり、にわかには手の着かない課題もありました。そこで平成17年度には、比較的手が入りやすく、また緊急性の高い部分的・緊急的課題への取り組みが主になされました。具体的には主に2点あり、①科目選択の幅の拡張（1.複数のテーマにまたがる科目の増加、2.インダストリアルコース科目の追加、3.3限配置科目の承認、4.未開講科目の開講）および②システムの改善（都市教養プログラム卒業要件確認表の作成）などが行われました。この取り組みによって、緊急



性の高い課題がいくらかは緩和されたのではないかと考えられます。とはいえ、まず部分的・緊急的課題についてはなお引き続き、検討の余地があり、①健康福祉学部学生への配慮、②都市教養プログラムの必修科目指定の問題、③選択の幅が広がる時間割配置の問題などが考えられます。

また、まだ大きな課題がいくつか手つかずのまま残っています。これは主に全体的・制度的課題への取り組みであろうと考えられます。まず①学生が選択したテーマを今後どのように反映してゆくのか、という課題があります。平成17年度の時点では、成績表などに学生がどのようなテーマを選択したのかということがうまく反映される仕組みがまだありません。将来的には必要であろうと考えられますが、システムなど様々な課題があり、今後の議論が必要であろうと思われます。

次に、もっとも大きな課題ですが、②都市教養プログラムの制度全体の再構築の議論の必要性が考えられています。これは都市教養プログラムのテーマや学系に含まれる科目構成などにはまだまだ検討の余地があり、再構築の必要があるということが1つ。また科目数が多すぎることで、科目間の時間調整の難しさや、科目選択の難しさがあげられています。これらの全体的・制度的課題は重要なことですが、すぐに変更できる課題ではないので、今後、数年間をかけてデータを積み重ね、検討を重ねていく必要があると考えられます。

これらの大小様々な課題への取り組みのため、今後、都市教養プログラム部会や基礎教育部会の先生方のみな

らず、多くの先生方、学生諸君、また事務方の皆様のお知恵を拝借できればと考えております。よろしくお願ひします。

<参考>

都市教養プログラム（首都大学東京HPより）

1,2年次を中心に履修する「都市教養プログラム」には、下記の科目があり、みなさんが所属するコース・学科に関わらず、幅広い学問分野を学ぶことができます。この中では、都市にまつわる4つのテーマに沿って、学問分野による4つの学系と実験・体験型科目（インターンシップ）から総合的に学びます。これは、都市教養教育の中心部分であり、首都大学東京のアイデンティティとして、すべての学生が履修するものです。みなさんは、この中から、一つ以上のテーマを選びます。そして、そのテーマについて、実験・体験型を含む5つの系のうちから4つの系にわたって履修します。

都市教養プログラムの主な4テーマ・5系列と授業例

系 テーマ	人文・社会 科学系Ⅰ	人文・社会 科学系Ⅱ	技術・自然 科学系Ⅰ	技術・自然 科学系Ⅱ	実験・体験 型科目
文化・芸術・歴史	*自然と文明の哲学 都市の歴史と文化	*都庁の仕組みと仕事 *都市社会学	数学の歴史 建築文化論	大地の成り立ちを探る 都市空間の人文地理	現場体験インターンシップ
グローバル化・環境	*環境と生命の倫理 科学哲学	環境と法開発と環境 *都市社会学	都市の生活環境と化学物質 電気エネルギーと環境	細胞生物学 *進化生物学 生態と環境	
人間・情報	心の哲学 言語科学入門 生活の心理学	情報社会と法 *社会調査法 *都市社会学	*集合と論理的思考 計算の理論	*ゲノム科学 神経生物学 *バイオテクノロジー	
産業・社会	*科学哲学 産業と歴史 *都市の歴史と文化	*都市社会学 *社会調査法 社会と福祉	確率統計と数理ファイナンス 現代社会・科学の役割	*ゲノム科学 *バイオテクノロジー 感染症と再生医療	
					*は複数のテーマの授業科目